

### (1) 民主主義の担い手である若者に対する主権者教育の推進

「主権者教育の推進に関する有識者会議」とりまとめ（平成29年3月）を踏まえ、若者に対する主権者教育を継続的に推進する

#### (a) 選挙・政治に関する教育の充実

- ・ 高校生向け副教材を作成・配布  
（平成29年度1学年分（約130万部）を作成・配布）
- ・ 模擬選挙、出前授業の実施や長期的計画の策定等に対し支援

#### (b) 参加・体験型学習の促進

- ・ 地域で開催する参加・体験型学習のイベントの実施を支援

【予算】 参加・実践等を通じた政治意識向上に要する経費 平成30年度当初予算 1.1億円(29年度 1.4億円)



図：出前授業で模擬選挙を行う様子

### (2) 在宅介護を受ける高齢者等の投票環境の一層の整備

投票の意思があっても、歩行が困難で投票所に行けない在宅高齢者等にとって投票しやすい環境の一層の整備を図る

#### (a) 郵便等投票の在り方の見直し

- ・ 郵便等投票ができる対象者の範囲の拡大を検討
- ・ あわせて、高齢者本人やその家族、ケアマネジャーなど関係者に広く郵便等投票の制度内容を周知し、適正な利用を徹底

#### (b) 移動支援等による在宅高齢者の投票環境向上の取組の推進

- ・ 投票所等までの移動支援の実施や移動型の期日前投票所の設置等の取組について、更なる横展開を図る